



下関市障害者 スポーツセンター NEWS

令和 3年 10 月
第4号

パラリンピック聖火フェスティバル&交流スポーツ教室開催♪

東京2020オリンピック・パラリンピックがコロナ禍の不安を抱えながらも開催、そして9月5日に閉幕し選手は勿論のこと、私たちにも多くの感動を与えてくれました。その余韻は消えることなく、当スポーツセンターの活動の原動力にもなっております。

パラリンピック開催前には下関市でも聖火の採火式が行われ、サポートランナーとして参加する予定だった小中学生が下関在住でボッチャ競技で活躍されている仁田原裕貴さん、同じくパラアイスホッケーで活躍されている永井涼太さんと一緒にボッチャ競技の体験をし、障がい者スポーツに興味を持ってもらえる良い機会になりました。



☆パラリンピック競技☆ゴールボール

東京パラリンピックでは、さまざまな競技を観戦されたとおもいます。

その中でも今回はゴールボールを紹介します！

鈴の入った音の鳴るボールを相手ゴールに投げ合い、得点を競う球技スポーツです。視覚障がい者を対象にしたチーム競技で全盲から弱視の選手まで出場可能です。公平を期すため視覚障がいの程度に関わらず全員アイシェイドと呼ばれる目隠しを着用します。

ボールの中に2つ鈴が入っていて、その音が聞こえるよう8箇所の小さい穴が交互に空けられています。そのためボールには空気が入っておらず弾みにくくなっています。大きさはバスケットボールと同じくらいですが、重さはほぼ2倍です！！



1976年にパラリンピック正式種目に、日本では1982年に東京の盲学校を会場として競技紹介が行われましたが全国的な普及には至りませんでした。2004年アテネ大会に女子代表が初出場し、男子は今回パラリンピック初出場でした。

競技は屋内で行われバレーボールと同じ広さのコートで、両端にサッカーゴールに似たゴールポストがあり、コートのラインには紐が入れてあり触って確認できるようになっています。音を頼りとするスポーツのため試合中の観客は静観が求められます。

11・12月の教室・大会

第25回下関市障害者交流卓球大会

たいかい
大会

卓球チャレンジ大会

にちじ 日時：11月21日(日)

うけつけ 受付8:30～ かいし 開始9:00～

(午前中には終了予定)

たいしょう 対象：市内在住の中学生以上の障害者

ないよう 内容：卓球ワンポイントレッスン

(講習会：下関市卓球協会)

卓球チャレンジ大会

- ①ラリーチャレンジ
- ②サーブチャレンジ

第14回フライングディスク記録会

にちじ 日時：12月5日(日)

たいしょう 対象：市内在住の障害者

ないよう 内容：午前の部(身体障害・精神障害の部)

うけつけ 受付 9:15～ 記録会 9:30～

ごご 午後の部(知的障害の部)

うけつけ 受付 13:30～ 記録会 13:45～

しめきり 締切：11月16日(火) 必着



知的障害者親子体操教室

にちじ 日時：毎週土曜日

① 13:00～13:45 (小学生以下)

② 14:30～15:30 (中学生以上)

ないよう 内容：基本的な身体の動きを色々な道具を使って身に付けると共に身体を動かす楽しさを実感してもらいます。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止・延期する場合があります。あらかじめご了承ください



障がい者スポーツ用具



フライングディスク
アキュラシーゴール



ポッチャ
ランプ(勾配具)



競技用車椅子



卓球バレー用
サウンドボール・ラケット

気軽に障がい者スポーツを楽しんでいただけるよう
障がい者スポーツの用具を施設や団体、学校などに
随時貸し出ししております。上記以外にゴールボー
ル用ボール、ブラインドサッカーボールもあります。
また、障がい者スポーツ体験教室も開催しております
ので、詳細、申し込みなどはスポーツセンターまで
お問い合わせください。

下関市障害者スポーツセンター

下関市貴船町三丁目4-1

TEL 083-232-1846

FAX 083-227-2555

E-mail s-sports@shimoshakyo.or.jp

URL <https://shimonoseki-sspc.jp>

